

日美三二通信

【今月のメイン記事】

- お手軽スタンドPOP
- PDF入稿のおすすめ
- 大人気!味付きの水



◆日美三二通信は人に優しいUD書体を使用しています。

お手軽スタンドPOPで

今回は、日美通信の読者様だけに、簡単に注目率の高いPOPが作れる方法をお伝えします。

厚めの用紙、もしくは貼れパネに貼った印刷物に“紙製の足”を付けるだけで簡単にPOPになります。

これはお客様からのご依頼で少数、多品目のPOPを制作していた時、どうしたらもっと一枚一枚目立つことが出来るのかを考え取り入れました。

特に、1枚から貼って使えるので、目玉商品や売りたい商品にだけ使いたいというときに、かなりお役に立てるかと思います。

両面テープでつけるだけの簡単作業で

すので、意外と応用がききますし、コートボール紙を使用していますので、多少の重量にも耐えられます。また「貼れパネ」を利用するとPOPに立体感が付き、少し高いプライスの商品でも横に置いたときに負ける事はありません。

また、目立つだけではなく、商品の陳列棚や、什器にPOPを直接貼るよりも、自立式のPOPは売り場全体の感度を高めます。特に専門店様のPOPや、サービス業様の料金表などの案内等に最適です。

“紙製の足”につきましては弊社お客様サポート部までお問合せ下さい。ご利用をお待ち致しております。

お客様サポート部 春原

売り場力アップ!!



安心、安全なデータ入稿

PDF-X4のオススメ

PDF 入校が増えてきておりますが、より安全でトラブルの少ない、X-4 入校に切り替えてみませんか？

●なぜ、トラブルが起きるか？

主にDTP で使われてきた、EPS という形式は、20 年ほど前から使われているDTP の言語（ポストスクリプト言語）で、こちらには、「透明」という情報は入っておらず、透明効果は、「分割」という方法で、現状、出力しています。そのため、分割した線がはっきり見えてしまう場合などがあり、トラブルになるケースが多々あります。

●X-4 入校の仕方

当社支給の、プラグインを入れて頂き、

イラストレーターやインデザインから、PDF を作成するだけでオーケーです。後は、当社のRIP、アドビPDF プリントエンジンで、適切な処理を行います。

X-4 は分割処理を行わず、透明は透明のまま処理されます。よって、上記のようなトラブルは、軽減されます。

●作成の注意

先ほども、EPS が古い形式と申しましたが、X-4 にしたからといって、EPS のデータを1部でも使用していると、トラブルは減りません。これは、Mac 上で、分割処理してしまうためです。正しい保存形式として、イラストレーターは、AI 形式、フォトショップは、PSD 形式で作成して下さい。

●主な流れ

イラストレーターに配置する画像は、全てPSD ファイルにしてイラストレーターへ配置。イラストレーターファイルは、Ai にして保存。（フォントは安全のため、アウトラインして下さい。）

画像の埋込みは不要です。

それらの素材インデザインに配置してデータ作成し、PDF/X-4 で書き出します。これにより、トラブルの少ない、X-4 運用が出来ます。ぜひ、お試し下さい。

詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
お電話でもお気軽にお問合せ下さい。

※Adobe Creative Suite3 以上を推奨します。

商品生産部 千葉





お盆休み中にスイカを1玉まるまる一人で食べてしまった畔上です。

安心できる食材だけを使用して造るこだわり、お客様に安全なものを食べていただきたいという思いが伝わる商品です。

今回は、長野県内産・国産の素材や製法にこだわり、安心・安全を第一に考えた「味つけえのき」をご紹介します。

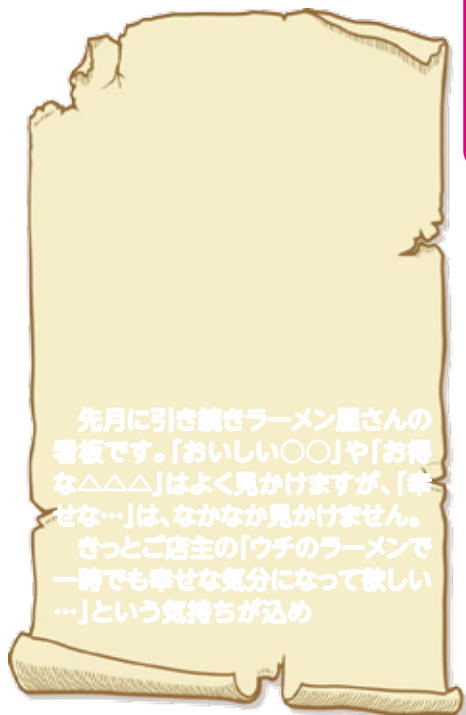
私もお客様の為にこだわりを持って仕事をしたいと思いました。

培地には、長野県内間伐材のおがくずを使用し原種系えのき茸を栽培、加工しています。

このこだわりの「えのき」に負けないように、調味料は国産、長野県産にこだわり、化学調味料や合成添加物は一切使用していません。また、味つけには主婦の間で人気の「料理研究家 横山タカ子」さんが味付けをしています。「シャキシャキと歯ごたえがよく食べやすい。」「やさしい味がする。」など社員の中でも評判です。



スタイリッシュウエディング ヴィーナスコート 電話026-256-8000



先月に引き継ぎラーメン屋さんの看板です。「おいしい○○」や「お得な△△△」はよく見かけますが、「幸せな…」は、なかなか見かけません。きっとご店主の「うちのラーメンで一時でも幸せな気分になって欲しい…」という気持ちが込め

【今月の一言社員】
お客様サポート部
宮澤 篤

今年のオリンピックでは、皆さん涙を流されたシーンも多かったとおもいます。
私の中での一番の感動のシーンは、女子バレー28年ぶりの銅メダルの時のアナウンサーの方が言った言葉で、「探していた、見失っていた光は、ロンドンの風の中にありました。」です。久しぶりに、涙が自然と出て来ました。
プロの仕事だなと思います。
私もこの様なプロの仕事で、お客様のサポートが出来るように日々勉強します。



昔から「地震、雷、火事、親父」と怖い物の代名詞の雷…。季節の風物詩ですが、この夏、自宅の近所で雷が落ち、ケーブルTVの配線から侵入されTVとチューナーに被害が出ました。それも10日間に2回も!!
近所でも電話がだめになったやら、TVがお釈迦になったと被害続出でした。
でも「雷の多い年は豊作」とも言われます。秋の実りに想いを馳せて、雷様には文句を言わないでおきましようか。くわばら、くわばら…。